

倉田コミュニティハウス通信

2008年8月号 NO. 21

〒244-0816 戸塚区上倉田町 1865-4 Tel/fax 045-866-1800

気軽にコンサートvol17「みんなで唄おう」

懐かしのメロディ・ポップス・ハワイアン・今、流行っている曲…なんでもOK!!

たっぷりと唄いましょう。コミハ専属バンドが伴奏します。参加自由無料です。

日程：2008年8月23日（土）午後4時から5時

曲目：旅人よ・岬めぐり・我が良き友よ・思い出のなごさ・パリーシェル

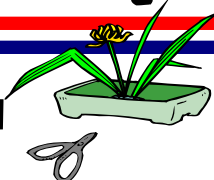
小さな竹の橋・南国の夜・私の青空・東京フギウギ・悲しき街角・涙そうそう

ギター・ウクレレなどお持ちの方、一緒に伴奏してみませんか～

歌詞カード・コード付伴奏譜などもご用意いたします。



☆募集します 「倉田いけばな子ども教室第2期生」



昨年のご好評いただいた、文部科学省助成金事業、今年も開講いたします。

子供を対象とした「日本の伝統文化を教える会」の助成を受け、水盤や剣山を使って、本格的に華道を習います。毎回材料費 500 円が必要です。

2008年9月6・27日

10月4・18日

11月1・22日

12月6・20日

2009年1月17・31日

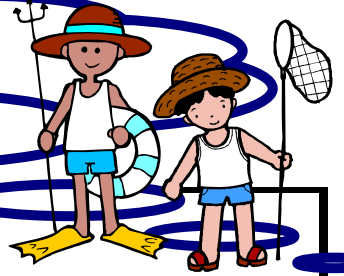
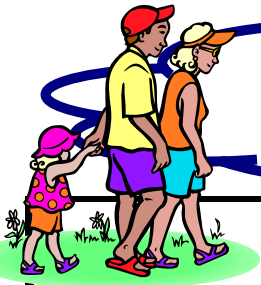
2月7・21日

各土曜日午前10時から12時

対象：幼稚園年長児、小中学生 20名 申し込み：8月2日から来館・

電話にて受け付けます。定員になり次第締め切ります。

8月の予定表 詳しくはお問い合わせ下さい。



内容・おすすめ

1(金)	抽選会	10:00 から 2008 年 9 月分の抽選会です。	
2・9・16・23 30 (土)	初心者のための囲碁講座	申し込みは終わりましたが、ご希望の方はご相談下さい。	
2・9・16・23 30 (土)	3時になったら ラジオ体操プラスお茶	0才～高齢者 どなたでもどうぞ	簡単な体操をして、その後お茶会です。 参加費 100 円です。
5(火)	フリースペース	1歳～未就園児向けの 子育て支援です。 先着 20 組に限ります。	午前 11 時から午後 1 時まで 読み聞かせの会は お休み です。
19(火)	0 歳児クラブ	0 歳児向けの 子育て支援です。	申し込みは終わりましたが、 ご希望の方はご相談下さい。
19(火)	まちの保健室	0才～高齢者 どなたでもどうぞ。	血压や体重測定をし、看護師さんに 生活習慣病などの相談ができます。 午後 2 時から 4 時まで
19(火)	フリースペース	0 歳～未就園児向け 子育て支援です。 先着 20 組に限ります。	出入り自由♪多目的ホールで「まち の保健室」と一緒に開催しています。 午後 2 時から 4 時まで
22(金)	ハートぽっぽクラブ	1才～2才半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	親子で歌ったり、遊んだり、楽しいこ といっぱいです。 活動費 100 円 です。午前 10 時から午後 1 時まで
23(土)	気軽にコンサート vol7 「みんなで唄おう」	0才～高齢者 どなたでもどうぞ	今、流行っている唄、懐かしい 唄、みんなで唄いましょう。
25(月)	休館日	全館点検のためお休みいたします。	
26 (火)	大人のための 生花教室	ご希望の方はお問い合わせ下さい。	

予告編です。詳しくは9月号をご覧ください。

倉田コミュニティハウス満2歳の誕生日

10月5日(日)開催します。時間は未定です。

①<< 間伐材で遊ぼう! >>

倉田コミュニティハウスは横浜市の水源地となっている道志村の間伐材で作られています。今回、横浜市水道局のご協力をいただきました。間伐材を使って木のおもちゃ・コースター・ドアプレートなど自由に作ってみませんか!!

②お餅つきや美味しいものもあります。お楽しみに!!!

倉田コミュニティハウス通信にサークルやグループ紹介のページを作る準備中です。サークルで行っていることや仲間になってくれる方募集などを掲載できるページにしたいと思っています。しばらくお待ち下さいね。



スタッフのひとり言

<大河の一滴>

‘自然淘汰’とは、「生物の中で自然環境に適応し進化するものが栄え、そうでないものが滅びる。」と言う法則である。

人間による動植物の乱獲により種の絶滅がしばしば問題となってきた。更に、ここ数十年地球上のあらゆる資源の乱獲・乱用により地球的規模の自然環境の破壊、それによる天変地異が多発している。まさに人間は動植物のみならず自らをも滅ぼそうとしている。これはまさしく人為的淘汰である。

始末が悪いことに、緊急且つ国際的対応策を必要としているにもかかわらず、それを承知しながら国益優先で妥協点を見出せない状況にある。ならばその元凶である、我々一人一人が日常生活の中での無駄を少しでも無くしていく事が肝要である。

‘大河も一滴から’と言う。

《岡》